

平成22年11月19日

各位

会社名 株式会社 コナカ
 代表者名 取締役社長 湖中 謙介
 (コード番号: 7494 東証第一部)
 問合せ先 専務取締役 沼田 孝
 (045 - 825 - 7700)
<http://www.konaka.co.jp/>

(訂正・数値データ訂正あり)「平成22年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成22年11月12日に発表しました表記開示資料について、一部訂正がありましたのでお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。
 なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

1. 1 ページ 1. 22年9月期の連結業績 (平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(訂正前)

(1) 連結経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期	68,394	2.9	195	-	2,451	-	<u>5,756</u>	-
21年9月期	70,402	2.5	474	-	5,480	-	7,653	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
22年9月期	<u>197.66</u>	-	<u>16.3</u>	<u>6.4</u>	0.3
21年9月期	262.77	-	18.2	6.6	0.7

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期	<u>73,247</u>	<u>32,360</u>	<u>44.2</u>	<u>1,111.16</u>
21年9月期	78,997	38,181	48.2	1,308.43

(参考) 自己資本 22年9月期 32,360百万円 21年9月期 38,106百万円

(訂正後)

(1) 連結経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期	68,394	2.9	195	-	2,451	-	<u>5,599</u>	-
21年9月期	70,402	2.5	474	-	5,480	-	7,653	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
22年9月期	<u>192.26</u>	-	<u>15.8</u>	<u>3.2</u>	0.3
21年9月期	262.77	-	18.2	6.6	0.7

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期	73,405	32,518	44.3	1,116.57
21年9月期	78,997	38,181	48.2	1,308.43

(参考) 自己資本 22年9月期 32,518百万円 21年9月期 38,106百万円

2. 3ページ 1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析

(訂正前)

(当期の経営成績)

(省略) 19行目より

また、特別損失に経営効率の改善をねらった店舗統廃合に係る減損損失 20億50百万円を計上することとなり、当期純損失は 57億56百万円 (前連結会計年度 当期純損失 76億53百万円) となりました。

(次期の見通し)

(省略) 15行目より

これにより平成23年9月期の連結業績の見通しは、売上高 675億67百万円 (前年同期比 1.2%減)、営業利益 21億16百万円 (前連結会計年度 営業損失 1億95百万円)、経常利益 35億9百万円 (前連結会計年度 経常損失 24億51百万円)、当期純利益 11億84百万円 (前連結会計年度 当期純損失 57億56百万円) を見込んでおります。

(訂正後)

(当期の経営成績)

(省略) 19行目より

また、特別損失に経営効率の改善をねらった店舗統廃合に係る減損損失 18億92百万円を計上することとなり、当期純損失は 55億99百万円 (前連結会計年度 当期純損失 76億53百万円) となりました。

(次期の見通し)

(省略) 15行目より

これにより平成23年9月期の連結業績の見通しは、売上高 675億67百万円 (前年同期比 1.2%減)、営業利益 21億16百万円 (前連結会計年度 営業損失 1億95百万円)、経常利益 35億9百万円 (前連結会計年度 経常損失 24億51百万円)、当期純利益 11億84百万円 (前連結会計年度 当期純損失 55億99百万円) を見込んでおります。

3. 4ページ 1. 経営成績 (2) 財政状態に関する分析

(訂正前)

資産、負債及び純資産の状況

資産は、前年同期比 57億49百万円減少し、732億47百万円となりました。これは主に商品及び製品の減少 14億22百万円、減損損失等の計上による有形固定資産の減少 32億65百万円等によるものであります。

負債は、前年同期比 71百万円増加し、408億87百万円となりました。これは主に借入金の一部返済による減少 22億91百万円及び負ののれんの償却による減少 9億円があったものの、為替の影響によるデリバティブ負債の増加 28億1百万円等によるものであります。

純資産は、58億20百万円減少し、323億60百万円となりました。これは主に当期純損失 57億56百万円の計上による利益剰余金の減少等によるものであります。

キャッシュフローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は 30億61百万円 (前年同期比 17百万円減) となりました。これは主に税金等調整前当期純損失 49億9百万円により減少したものの、デリバティブ評価損 28億1百万円、減価償却費 19億96百万円及び減損損失 20億50百万円の計上によるものであります。

(訂正後)

資産、負債及び純資産の状況

資産は、前年同期比 55 億 92 百万円減少し、734 億 5 百万円となりました。これは主に商品及び製品の減少 14 億 22 百万円、減損損失等の計上による有形固定資産の減少 31 億 8 百万円等によるものであります。

負債は、前年同期比 71 百万円増加し、408 億 87 百万円となりました。これは主に借入金の一部返済による減少 22 億 91 百万円及び負ののれんの償却による減少 9 億円があったものの、為替の影響によるデリバティブ負債の増加 28 億 1 百万円等によるものであります。

純資産は、56 億 63 百万円減少し、325 億 18 百万円となりました。これは主に当期純損失 55 億 99 百万円の計上による利益剰余金の減少等によるものであります。

キャッシュフローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は 30 億 61 百万円 (前年同期比 17 百万円減) となりました。これは主に税金等調整前当期純損失 47 億 52 百万円により減少したものの、デリバティブ評価損 28 億 1 百万円、減価償却費 19 億 96 百万円及び減損損失 18 億 92 百万円の計上によるものであります。

4. 9 ページ 4. 連結財務諸表 (1) 連結貸借対照表

(訂正前)

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (平成 21 年 9 月 30 日)	当連結会計年度 (平成 22 年 9 月 30 日)
(省略)		
土地	2	13,669
リース資産		222
減価償却累計額		24
リース資産(純額)	176	167
建設仮勘定	10	30
有形固定資産合計	30,688	27,422
(中略)		
固定資産合計	49,569	45,110
資産合計	78,997	73,247

(訂正後)

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (平成 21 年 9 月 30 日)	当連結会計年度 (平成 22 年 9 月 30 日)
(省略)		
土地	2	13,669
リース資産		222
減価償却累計額		24
リース資産(純額)	176	167
建設仮勘定	10	30
有形固定資産合計	30,688	27,579
(中略)		
固定資産合計	49,569	45,267
資産合計	78,997	73,405

5.10 ページ 4.連結財務諸表 (1) 連結貸借対照表
(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成 21 年 9 月 30 日)	当連結会計年度 (平成 22 年 9 月 30 日)
(省略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,305	5,305
資本剰余金	14,745	14,745
利益剰余金	21,186	15,284
自己株式	3,337	3,338
株主資本合計	37,899	31,996
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	207	363
評価・換算差額等合計	207	363
少数株主持分	74	-
純資産合計	38,181	32,360
負債純資産合計	78,997	73,247

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成 21 年 9 月 30 日)	当連結会計年度 (平成 22 年 9 月 30 日)
(省略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,305	5,305
資本剰余金	14,745	14,745
利益剰余金	21,186	15,441
自己株式	3,337	3,338
株主資本合計	37,899	32,154
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	207	363
評価・換算差額等合計	207	363
少数株主持分	74	-
純資産合計	38,181	32,518
負債純資産合計	78,997	73,405

6.11 ページ 4. 連結財務諸表 (2) 連結損益計算書
(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自平成20年10月1日 至平成21年9月30日)		(自平成21年10月1日 至平成22年9月30日)	
(省略)				
特別損失				
固定資産除却損	4	171	4	144
投資有価証券評価損		534		207
減損損失	5	1,981	5	<u>2,050</u>
その他		95		178
特別損失合計		<u>2,782</u>		<u>2,580</u>
税金等調整前当期純損失()		<u>8,262</u>		<u>4,909</u>
法人税、住民税及び事業税		204		180
法人税等還付税額		-		13
法人税等調整額		644		741
法人税等合計		<u>849</u>		<u>907</u>
少数株主損失()		1,458		60
当期純損失()		<u>7,653</u>		<u>5,756</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自平成20年10月1日 至平成21年9月30日)		(自平成21年10月1日 至平成22年9月30日)	
(省略)				
特別損失				
固定資産除却損	4	171	4	144
投資有価証券評価損		534		207
減損損失	5	1,981	5	<u>1,892</u>
その他		95		178
特別損失合計		<u>2,782</u>		<u>2,423</u>
税金等調整前当期純損失()		<u>8,262</u>		<u>4,752</u>
法人税、住民税及び事業税		204		180
法人税等還付税額		-		13
法人税等調整額		644		741
法人税等合計		<u>849</u>		<u>907</u>
少数株主損失()		1,458		60
当期純損失()		<u>7,653</u>		<u>5,599</u>

7. 12、13 ページ 4. 連結財務諸表 (3) 連結株主資本等変動計算書
(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自平成20年10月1日 至平成21年9月30日)	当連結会計年度 (自平成21年10月1日 至平成22年9月30日)
(省略)		
利益剰余金		
前期末残高	29,130	21,186
当期変動額		
剰余金の配当	291	145
当期純損失()	7,653	<u>5,756</u>
自己株式の処分	0	-
当期変動額合計	<u>7,944</u>	<u>5,902</u>
当期末残高	<u>21,186</u>	<u>15,284</u>
(中略)		
株主資本合計		
前期末残高	45,844	37,899
当期変動額		
剰余金の配当	291	145
当期純損失()	7,653	<u>5,756</u>
自己株式の取得	0	0
自己株式の処分	0	-
当期変動額合計	<u>7,944</u>	<u>5,902</u>
当期末残高	<u>37,899</u>	<u>31,996</u>
(中略)		
純資産合計		
前期末残高	47,548	38,181
当期変動額		
剰余金の配当	291	145
当期純損失()	7,653	<u>5,756</u>
自己株式の取得	0	0
自己株式の処分	0	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,421	81
当期変動額合計	<u>9,366</u>	<u>5,820</u>
当期末残高	<u>38,181</u>	<u>32,360</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自平成20年10月1日 至平成21年9月30日)	当連結会計年度 (自平成21年10月1日 至平成22年9月30日)
(省略)		
利益剰余金		
前期末残高	29,130	21,186
当期変動額		
剰余金の配当	291	145
当期純損失	7,653	5,599
自己株式の処分	0	-
当期変動額合計	7,944	5,744
当期末残高	21,186	15,441
(中略)		
株主資本合計		
前期末残高	45,844	37,899
当期変動額		
剰余金の配当	291	145
当期純損失()	7,653	5,599
自己株式の取得	0	0
自己株式の処分	0	-
当期変動額合計	7,944	5,745
当期末残高	37,899	32,154
(中略)		
純資産合計		
前期末残高	47,548	38,181
当期変動額		
剰余金の配当	291	145
当期純損失()	7,653	5,599
自己株式の取得	0	0
自己株式の処分	0	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,421	81
当期変動額合計	9,366	5,663
当期末残高	38,181	32,518

8.14 ページ 4. 連結財務諸表 (4) 連結キャッシュ・フロー計算書
(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成 20 年 10 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)	当連結会計年度 (自 平成 21 年 10 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 ()	8,262	<u>4,909</u>
減価償却費	2,337	1,996
減損損失	1,981	<u>2,050</u>
(省略)		

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成 20 年 10 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)	当連結会計年度 (自 平成 21 年 10 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 ()	8,262	<u>4,752</u>
減価償却費	2,337	1,996
減損損失	1,981	<u>1,892</u>
(省略)		

9.24 ページ 注記事項 (連結損益計算書関係)

(訂正前)

前連結会計年度 (自 平成 20 年 10 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)			当連結会計年度 (自 平成 21 年 10 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)		
5. 減損損失 当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。			5. 減損損失 当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。		
用途	種類	場所	用途	種類	場所
営業店舗 74 店舗	建物 土地 その他	神奈川県相模原市他	営業店舗 80 店舗他	建物 土地 その他	東京都港区他
当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗毎にグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び市場価額が著しく下落している資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失 (1,981 百万円) として特別損失に計上しました。その内訳は、建物 1,232 百万円、土地 417 百万円、その他 331 百万円です。 (省略)			当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗毎にグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び市場価額が著しく下落している資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失 (2,050 百万円) として特別損失に計上しました。その内訳は、建物 1,455 百万円、土地 246 百万円、その他 347 百万円です。 (省略)		

(訂正後)

前連結会計年度 (自 平成 20 年 10 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)			当連結会計年度 (自 平成 21 年 10 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)														
<p>5. 減損損失 当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業店舗 74 店舗</td> <td>建物 土地 その他</td> <td>神奈川県相模原市他</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗毎にグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び市場価値が著しく下落している資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(1,981百万円)として特別損失に計上しました。その内訳は、建物1,232百万円、土地417百万円、その他331百万円です。 (省略)</p>			用途	種類	場所	営業店舗 74 店舗	建物 土地 その他	神奈川県相模原市他	<p>5. 減損損失 当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業店舗 80 店舗他</td> <td>建物 工具、器具及び備品 その他</td> <td>東京都港区他</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗毎にグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び市場価値が著しく下落している資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(1,892百万円)として特別損失に計上しました。その内訳は、建物1,455百万円、<u>工具、器具及び備品202百万円</u>、その他<u>234百万円</u>です。 (省略)</p>			用途	種類	場所	営業店舗 80 店舗他	建物 工具、器具及び備品 その他	東京都港区他
用途	種類	場所															
営業店舗 74 店舗	建物 土地 その他	神奈川県相模原市他															
用途	種類	場所															
営業店舗 80 店舗他	建物 工具、器具及び備品 その他	東京都港区他															

10. 40 ページ (1株当たり情報)

(訂正前)

前連結会計年度 (自 平成 20 年 10 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)		当連結会計年度 (自 平成 21 年 10 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)	
1株当たり純資産額	1,308円43銭	1株当たり純資産額	<u>1,111円16銭</u>
1株当たり当期純損失金額	262円77銭	1株当たり当期純損失金額	<u>197円66銭</u>
<p>潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。</p>		<p>潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。</p>	

(注) 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成 20 年 10 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)	当連結会計年度 (自 平成 21 年 10 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)
当基純損失() (百万円)	7,653	<u>5,756</u>
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る当期純損失() (百万円)	7,653	<u>5,756</u>
期中平均株式数(株)	29,124,754	29,123,622

(訂正後)

前連結会計年度 (自 平成 20 年 10 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)	当連結会計年度 (自 平成 21 年 10 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)
1株当たり純資産額 1,308 円 43 銭 1株当たり当期純損失金額 262 円 77 銭	1株当たり純資産額 1,116 円 57 銭 1株当たり当期純損失金額 192 円 26 銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成 20 年 10 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)	当連結会計年度 (自 平成 21 年 10 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日)
当基純損失() (百万円)	7,653	<u>5,599</u>
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る当期純損失() (百万円)	7,653	<u>5,599</u>
期中平均株式数(株)	29,124,754	29,123,622